

学術講演会 受講者募集案内

本会では学術事業の一環として、学術講演会を下記の通り開催いたします。是非ご参加下さい。

1. 日時 令和8年2月1日(日) 講演 9:00~13:20 (受付時間 8:20~9:00)
2. 場所 歯科医師会館1階・大会議室
〒102-8241 東京都千代田区九段北4-1-20 ※お車でのご来場はご遠慮ください。
交通: JR 総武線・東京メトロおよび都営地下鉄「市ヶ谷駅」徒歩約5分

3. 対象者 歯科医師 (先着200名)

4. 演題・講師

メインテーマ:『エンドを再び学ぶ!~最新の考え方と治療~』

- 9:05~10:45 講演 I
講師 日本歯科大学附属病院 総合診療科1科長・教授 北村和夫 先生
- 10:55~12:35 講演 II
講師 マンダリンデンタルオフィス院長 和達礼子 先生
- 12:50~13:20 ディスカッション

5. 研修単位 日歯生涯研修事業の個別テーマ毎の単位が取得できます。
6. 費用 本会会員(1種, 2種, 3種会員, 終身会員, 準会員): 無料/非会員: 30,000円
7. 申込締切 令和8年1月28日(水)
8. 申込方法 本会ホームページ (<https://www.tokyo-da.org>) のイベント・講演会
参加申込フォームまたは、以下の申込書(氏名, 所属地区歯科医師会名を明示)に記載の上, FAX でお申込み下さい。
9. 問合せ先 公益社団法人東京都歯科医師会・学術担当
TEL: 03-3262-1149 FAX: 03-3262-4199



申込フォーム QR コード

令和7年度 学術講演会 受講申込書

公益社団法人東京都歯科医師会・学術係 行
FAX 03-3262-4199

ふりがな		
氏 名	☐ 会 員 ☐ 準会員 ☐ 非会員	
地 区 名 (会員のみのみ)	歯科医師会	
医療機関名		
連 絡 先 (医療機関)	TEL	FAX

※申込締切: 令和8年1月28日(水) まで

その症例根管治療しますか？ —再根管治療の判断基準と治療方法—

日本歯科大学附属病院 総合診療科1 (歯内療法) 科長・教授 北村 和夫



エンドの器具・器材が進化した現在でも、多くの先生が根管治療に難儀しているのではないのでしょうか。わが国では、抜髄よりも再根管治療が多いのが現状です。そこで今回、既根管治療歯に対し、その歯が保存可能か否か、垂直性歯根破折の診断を含め、再根管治療を行うべきか否かの判断基準から再根管治療の勘所までお話しいたします。

再根管治療を行うか否かは、症状の有無、病変の有無、再補綴するかどうかの3つを中心に判断いたします。基本的に上記のうち、2つ以上の条件がそろえば、患者さんに再根管治療をお勧めいたします。該当する条件が1つの場合は、慎重に判断する必要があります。例えば根尖病変のみの場合は、根尖病変が治癒するまでに最大4年を要するので、経過観察を行い、判断いたします。該当する条件が1つで判断に迷った場合、根管充填の質を加味して判断いたします。そのほか、考慮すべき事項として、トランスポートーションの有無、患者の年齢・健康状態、通院の可否などがあげられます。この機会に、先生自身の再根管治療の判断基準をブラッシュアップしてみたいかがでしょうか。

私は、エンド難症例とエンド難治症例は異なるものだと考えています。前者は、エックス線検査で、強湾曲根管、S字状根管、狭窄根管、レジ、穿孔など、治療を開始する前に難しいとわかる症例です。一方、後者は根管治療を何度繰り返しても治らない症例と区別しています。エンド難症例に関しては、症例を提示しながら攻略のカギを説明いたします。また、エンド難治症例に関しては、難治症例をできるだけ作らないための根管治療のステップバイステップのポイントをお伝えします。

現在、私自身、学生時代に学んだ歯内療法はほとんど行っていません。私が普段の根管治療をどのように行っているか、エビデンスも交えてご紹介いたします。再根管治療に関しては、ダブルドライバートクニックによるメタルポストコア除去、ガッタパーチャ除去用 Ni-Ti ロータリーファイルを用いたガッタパーチャ除去の勘所について解説いたします。近年、根管治療は、根管拡大形成よりも根管洗浄に注目が集まっています。根管洗浄では効果的な洗浄剤の種類と機械的根管洗浄について解説いたします。根管貼薬では水酸化カルシウムの使

略 歴

きたむら かずお

東京都出身

- 1986年3月 日本歯科大学歯学部 卒業
- 1990年3月 日本歯科大学歯学部大学院歯学研究科 歯科臨床系 修了
- 1990年4月 日本歯科大学歯学部 歯科保存学教室 第1講座 助手
- 1997年4月 日本歯科大学歯学部 歯科保存学教室 第1講座 講師
- 2009年4月 日本歯科大学附属病院 総合診療科 准教授
- 2015年4月 日本歯科大学附属病院 総合診療科 教授 (現在に至る)

学会活動等

- 日本歯科専門医機構 歯科保存専門医・指導医
- 日本歯科保存学会 専門医, 指導医, 理事
- 日本歯内療法学会 専門医, 指導医, 代議員
- 日本顕微鏡歯科学会 指導医, 理事
- 関東歯内療法学会 理事 他
- 日本歯学系学会協議会 理事
- 東京都歯科医師会 広報常任委員会 (学術) 副委員長

用法について説明いたします。根管充填は、硬化収縮するシーラーから微膨張性を有するシーラーに変わったため、加圧根管充填からマッチドテーパーシングルコーンテクニックに移行しつつあります。

現在の歯内療法は、歯内療法の三種の神器 (CBCT, 顕微鏡, Ni-Ti ロータリーファイル) の登場により、以前の歯内療法よりも簡単・確実・時短になったと考えています。講演の一部でも、明日からの臨床に活かしていただければ幸いです。

当日、エンドについてディスカッションすることを楽しみに、ご参加の先生全員に、試供品も準備してお待ちしております。

Keyword : 再根管治療, 垂直性歯根破折, ダブルドライバートクニック, Ni-Ti ロータリーファイル, シングルコーンテクニック

すんなり治ればエンドも楽しい —再根管治療、手をつける前の目のつけどころ—

東京都開業 マンダリンデンタルオフィス院長 和 達 礼 子



一般診療をされている先生方は、保険診療という制約のなかでもより良い結果を出そうと、日々最善を尽くされています。そこに根管治療の難症例を1つでも抱えると、大きなストレスとなります。いつもの診療のリズムが崩されるだけでなく、同じようにやっているのに解が得られない、何回やっても先が見えない苦しさ、根管治療の難症例にはあるからです。

翻って、大学受験や歯科医師国家試験を思い出してみてください。どの学校にも、「公式さえ知っていれば、たいていの問題は解ける。」と言う天才君が1人はいたと思います。しかし、普通の人間にはそうはいきません。ひたすら過去問を解き、次に類似した問題に出会ったときに答案が書けるように備えます。それが受験勉強でした。

診療も同じです。かつて同様の経験があれば、着手前に患者さんに難症例であることを伝える、治癒しないかもしれないことに理解を得る、処置上の注意点を把握し臨む、大学病院や歯内治療専門医に依頼し回避する、といった対処が出来るでしょう。しかしながら、1人の歯科医師が一生に出会える症例数には限りがあります。どのような症例が来るかを選べるわけでもありません。何も知識が無ければ、最初に遭遇したときにいきなり大失敗をしてしまうかもしれません。自分の臨床だけから学ぶというのは、効率が悪くかつ患者さん歯科医師双方に痛みを伴うことがあるものです。

自分は都内で歯内治療を専門に開院しており、多くの歯内治療の症例に出会います。なぜかかりつけの先生はハマってしまったのか？どこに気づくべきだったのか？遭遇した症例を供覧することで、皆様には過去問としてお役に立てるのではないかと考えています。

ところで、近年の歯内治療学の発展は目覚ましく、歯内治療専門医も増え、高度な処置を行うだけでなく、先進的な情報を発信しています。その一方で、機器の高額さゆえ従来の設備のまま健闘されている先生方も多数いらっしゃいます。歯内治療専門医の講演を聞かれても、技術的なことはすぐには診療に反映し難いのでしょうか。その点、知識は知った翌日からすぐ役に立つ機会が訪れるかもしれません。

今回のテーマは再根管治療です。本講演では、再根管治療でハマらないようにするためのポイントについて

略 歴

わだち れいこ

東京都出身

- 1993年 東京医科歯科大学（現 東京科学大学）
歯学部 卒業
東京医科歯科大学大学院歯学研究科 入学
- 1997年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科 修了
- 1997年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員採用
- 2001年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
歯髄生物学分野 助教採用
- 2003年～2005年 文部省在外研究員として米国テキサス州立大学サンアントニオ校 歯内治療学講座に派遣
- 2016年 東京医科歯科大学 退職
マンダリンデンタルオフィス開院

学会活動等

- 日本歯科保存学会 認定指導医
- 関東歯内療法学会 常任理事
- 日本歯内療法学会 編集委員
- 日本顕微鏡歯科学会 評議員
- 日本歯科薬物療法学会 評議員
- 東京科学大学歯科同窓会 医療管理委員・同窓会活性化委員
- 東京科学大学歯科東京同窓会 広報委員
- 四谷牛込歯科医師会 学術理事

お話いたします。その際には、特に以下の点に留意いたします。

- 顕微鏡の有無にかかわらず、どなたの診療にも役立つ内容であること。
- 単に「気をつけましょう」ではなく、具体的に何をどう気をつけたらよいのかを伝えること。
- 症例を疑似体験できるよう、わかりやすく提示すること。

患者さんのために、貴重な休日にわざわざ足を運ばれる先生方の熱意に失礼が無いよう、心して準備して参ります。当日皆様にお会いできますことを、楽しみにしております。

Keyword：再根管治療，難症例，デンタルX線写真，
歯科用CT